

広聴広報特別委員会 行政視察報告

(委員長 瀧澤 征幸)

●日程

平成24年11月14日～15日

印刷会社の選定は重要だと再認識をした。



利府町での研修風景

委員の構成は、委員長が議会の副議長、副委員長はベテラン議員、以外は新人議員が担当している。

平成18年6月から、一般質問において一問一答方式を導入し、質問者のほとんどが一問一答方式(30分以内)で行っている。一般質問の記事については議事録と照合して検閲を行っている。

委員の構成は、委員長が行っている。今後、議会や議員の顔がより見える活動をしていきたいとのことだった。

美里町での視察では、利府町と同様に、編集要領が合併当初から作成されていることに驚いた。これらは正に、議会だより編集のバイブルとなっており、大いに参考となった。

編集方法は、2ページずつを委員に割当て、文字、記事内容、レイアウトなどを担当する仕組みにし、委員一人ひとりの責任度合いが高まる手法を取っている。1ページあたりの紙面づくりでは、文章が40%、見出しと写真が40%、余白とイラストが20%を心掛け、余白(白地)は決して無駄ではないという紙面づくりを

また、毎年東京で開催される議会広報研修会に参加しており、お金をかけても研修する価値が十分にあるとのことだった。美里町の議会だよりは、常に全国コンクールにおいて上位入賞し、しかも、全国25番目では宮城県内の町村が入るというから驚く。

ユニークなのは、総括で30分以内の質問をし、大項目ごとに3回ずつ質問を行うが、この場合、時間制限がないことである。

現在、特別委員会が議会だよりを編集しているが、常任委員会への検討を行っているようである。また、議会の中継をインターネットで配信することも検討中とのこと。

議会だよりの最終ページにはクイズのコーナーがあり、議会だよりの中身を読まないと回答できないように工夫されている。応募も多く、すばらしい企画だと感じた。これは当市議会だよりにも活用できそうである。

印刷会社は利府町と同じで、美里町が利府町にその会社を紹介したとのこと。



美里町での研修風景

【調査地】

宮城県 利府町
宮城県 美里町

利府町では、平成23年5月に、議会編集特別委員会が議会広報常任委員会に昇格した。町独自の広報作成マニュアルがあり、大変分かりやすく、参考になるものである。